

『大原社会問題研究所雑誌』 2020 年度総目次

- (1) 2009～2019 年度の総目次については各翌年度 4 月号を参照されたい。
- (2) 『資料室報』第 1 号～『大原社会問題研究所雑誌』第 599・600 号までの総目次については、2008 年 10・11 月号 (No.599・600) を参照されたい。
- (3) なお、大原社会問題研究所 Web サイト (<http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/oz/>) でも、バックナンバー総目次を掲載している。さらに、1997 年 4 月号以降については、雑誌本体のオンライン・ジャーナル化、Web 上での公開を行っている。

2020 年 4 月号 No.738

【特集】生活困窮と金融排除	
特集にあたって	小関隆志
世界と日本の金融排除・金融包摂の動向	小関隆志
低所得者世帯の金融排除と金融ウェルビーイング ——ファイナンシャル・ダイアリー調査に基づく分析と考察	角崎洋平
母子生活支援施設利用者にみる金融排除	佐藤順子
「最低限身に付けるべき金融リテラシー」と機会 ——社会的不利を抱える人々の金融ケイパビリティに関する論点	野田博也
■論文	
労働組合の存在と正規雇用の賃金との関連 ——かたよる属性、差のつく賃金カーブ、広がる年齢内格差	鈴木恭子
■書評と紹介	
石井保雄著『わが国労働法学の史的展開』	石田 眞
社会・労働関係文献月録	
『大原社会問題研究所雑誌』2019 年度総目次	
お詫びと訂正	
所報	2019 年 12 月

2020 年 5 月号 No.739

【特集】世帯のなかに隠れた貧困——女性の貧困をいかに捉えるか	
特集にあたって	鳥山まどか
世帯内資源配分に関する研究にみる「世帯のなかに隠れた貧困」	丸山里美
DV 研究と経済的暴力——「世帯のなかに隠れた貧困」へのアプローチ	吉中季子
マネープロblem (借金・滞納) に関する研究にみる「世帯のなかに隠れた貧困」	鳥山まどか
「世帯のなかに隠れた貧困」に関する子育て世帯研究の再構成	田中智子
■書評と紹介	
韓載香著『パチンコ産業史——周縁経済から巨大市場へ』	五十嵐千尋
社会・労働関係文献月録	
月例研究会 「青年」運動史研究と男性史研究の架橋 ——第一次大戦後における学生社会運動を事例として	伊東久智
所報	2020 年 1 月

2020年6月号 No.740

【特集】無産政党史的研究——『社会民衆新聞』『社会大衆新聞』を中心に	
特集にあたって	榎 一江
無産政党地方議会議員の支持基盤形成 ——社会民衆党京都市議員上田蟻善の思想・行動・政治	杉本弘幸
戦間期無産政党の女性「大衆」組織化——社会民衆婦人同盟に注目して	海妻径子
全国労農大衆党結党の検討	福家崇洋
社会民衆党・社会大衆党の無産者芸術・文化へのまなざし	立本紘之
■書評と紹介	
胡澎著／莊嚴訳『戦時体制下日本の女性団体』	米田佐代子
社会・労働関係文献月録	
月例研究会 『日本労働年鑑』の100年——内容と構成は時代をどのように反映したのか	鈴木 玲
所報	2020年2月

2020年7月号 No.741

【特集】社会運動史研究のメタヒストリー	
特集にあたって——社会運動／社会運動史研究の120年	黒川伊織
社会主義運動史研究会から運動史研究会へ——伊藤晃氏インタビュー	
渡部徹の歴史学——関西・社会運動史研究史序説	黒川伊織
転向に生きる苦悩——小林杜人の転向論に焦点をあてて	福家崇洋
■書評と紹介	
逆井聡人著『〈焼跡〉の戦後空間論』	鈴木貴宇
伊藤セツ著『山川菊栄研究——過去を読み未来を拓く』	堀川祐里
社会・労働関係文献月録	
所報	2020年3月

2020年8月号 No.742

【特集】スポーツをめぐる政治——社会問題としてのスポーツとオリンピック	
特集にあたって	市井吉興
強制収容所の「スポーツ」——ナチズム・近代・ベルリンオリンピック	有賀郁敏
国際労働者オリンピックアードとイギリスの運動	青沼裕之
オリンピック・パラリンピックは開催都市に何を「遺す」のか？ ——2012年ロンドン大会の〈スポーツのレガシー〉に関する考察	金子史弥
「創造的復興」と延期された2020東京オリンピック ——例外状態・ニュー・ノーマル・ライフスタイルスポーツ	市井吉興
■書評と紹介	
古川美佳著『韓国 <small>ミンジョン・アート</small> の民衆美術——抵抗の美学と思想』	真鍋祐子
姜徳相著『呂運亨評伝3——中国国民革命の友として』 『呂運亨評伝4——日帝末期暗黒時代の灯として』	長田彰文
社会・労働関係文献月録	
月例研究会 近年のアジアから日本への若者移民とその課題——ネパールのケースから	渋谷淳一
所報	2020年4月

【特集】ILO（国際労働機関）と日本——100年の歴史と仕事の未来	
特集にあたって	藤原千沙
主催者代表挨拶	鈴木 玲
第108回ILO創設100周年記念総会について	田口晶子
基調講演 ILOと日本	吾郷眞一
ILO第1号条約と労働時間問題	石井 聡
国際労働会議代表問題と大原社会問題研究所	榎 一江
パネルディスカッション	
■講演	
鉱業停止要求と原発拒否 ——足尾銅山の鉱業停止運動の現代的意義としての反原発運動	菅井益郎
■書評と紹介	
兵藤釗著『戦後史を生きる——労働問題研究私史』	禹宗杭
高嶋修一著『都市鉄道の技術社会史』	鈴木 淳
車田忠継著『昭和戦前期の選挙システム——千葉県第一区と川島正次郎』	官田光史
井上慧真著『若者支援の日英比較——社会関係資本の観点から』	阿比留久美
法政大学大原社会問題研究所2019年度の歩み	
社会・労働関係文献月録	
月例研究会『転形期芸術運動の道標——戦後日本共産党の源流としての戦前期プロレタリア文化運動』をめぐる回顧と検討	立本絃之
所報	2020年5・6月

【特集】第90集刊行記念『日本労働年鑑』の歩み	
特集にあたって	鈴木 玲
『日本労働年鑑』（第1集～第90集）の時期区分について ——『年鑑』第90集、創刊100年を記念して	早川征一郎
大原社会問題研究所の思い出——『日本労働年鑑』の編集業務を中心に	五十嵐仁
■論文	
イタリアの付属労働（lavoro accessorio）制度の創設と廃止、そして後続制度 ——ケア労働への利用に着目して	宮崎理枝
■書評と紹介	
藤野豊著『「黒い羽根」の戦後史——炭鉱合理化政策と失業問題』	島西智輝
ジョン・アーリ著／吉原直樹、高橋雅也、大塚彩美訳 『〈未来像〉の未来——未来の予測と創造の社会学』	根岸海馬
100年史編纂を終えて	榎 一江
大原社会問題研究所100年の歩み（年表）	
社会・労働関係文献月録	
月例研究会 女性活躍推進法の改正過程——労政審での議論を中心に	高瀬久直
所報	2020年7月

2020年12月号 No.746

【特集】ひとり親家族支援政策の国際比較	
ひとり親家族支援政策の国際比較——特集にあたって	船橋恵子・湯澤直美 魚住明代・相馬直子
フランスのひとり親家族支援政策——歴史の変遷と課題	船橋恵子
ドイツのひとり親家族支援政策	魚住明代
韓国のひとり親家族支援政策——家族支援事業体の形成と連帯の諸相	相馬直子
日本のひとり親家族支援政策	湯澤直美
■書評と紹介	
持田信樹著『日本の財政と社会保障——給付と負担の将来ビジョン』	小黒一正
加藤諭著『戦前期日本における百貨店』	満園 勇
社会・労働関係文献月録	
月例研究会 日本における外国人介護人材受入政策 ——特定技能「介護」の新設は社会にどのような影響を与えるのか	福嶋美佐子
所報	2020年8月

2021年1月号 No.747

【特集】河川開発と地域社会	
特集にあたって	平野 泉・清水善仁
ハッ場ダム——68年の経緯と山積する未解決の問題	渡辺洋子
消えたふるさと、使われない水 ——徳山ダム建設反対運動裁判資料からダムの必要性を問い直す	川田恭子
1920-50年代の河川開発と山間村落——兵庫県宍粟郡の事例から	長谷川達朗
■論文	
厚生（厚生労働）省保護課長のキャリアパス分析——社会局期（1950～1992年）および社会・援護局期（1992～2019年）を対象に	近藤貴明
■書評と紹介	
麦倉泰子著『施設とは何か——ライフストーリーから読み解く障害とケア』	前田拓也
打越正行著 『ヤンキーと地元——解体屋、風俗経営者、ヤミ業者になった沖縄の若者たち』	杉田真衣
社会・労働関係文献月録	
月例研究会 NPOと労働法——新たな市民社会構築に向けたNPOと労働法の課題	渋谷典子
所報	2020年9月

2021年2月号 No.748

【特集】イギリス工業化社会における労働者階級家族と子どもたち ——Jane Humphries, <i>Childhood and Child Labour in the British Industrial Revolution</i> を読む	
特集にあたって	原 伸子
エンゲルス『起源』の「二つの生産」と労働者階級家族 ——ジェーン・ハンフリーズの家族の相対的自律性論をめぐって	原 伸子
産業革命期イギリスにおける子どもたちの労働と健康 ——カービー＝ハンフリーズ論争を中心として	永島 剛
産業革命期の児童労働と人的資本蓄積 ——イングランドにおける子どもの識字能力の推移	山本千映・磯野将吾

20世紀初頭スコットランドにおける若年労働と徒弟制をめぐって ——O. Gordon, <i>A Handbook of Employments</i> (1908) を読む	齊藤健太郎
イギリスにおける児童の扶養と手当 ——1943-45年の児童手当の制度設計をめぐる議論を中心に	赤木 誠
■論文	
生命保険営業職の採用と育成——伝統的生保と後発型生保の比較ジェンダー分析	金井 郁・申琪榮
■書評と紹介	
武田尚子著『戦争と福祉——第一次大戦期のイギリス軍需工場と女性労働』	奥田伸子
日野原由未著 『帝国の遺産としてのイギリス福祉国家と移民——脱国民国家化と新しい紐帯』	二宮 元
社会・労働関係文献月録	
月例研究会 大原社会問題研究所 100年史を読む	榎 一江・伊東林蔵
所報	2020年10月

2021年3月号 No.749

【特集】韓国における労働改革とジェンダー	
特集にあたって	横田伸子
2000年以降の韓国女性労働市場の構造変化	鄭成美／尹文熙訳
文在寅政権の労働改革と女性労働政策	尹子英／呉民淑訳
文在寅政権の福祉改革と韓国におけるジェンダー体制 ——女性労働者の社会権を中心に	黄晶美／大畑正姫訳
特集論文・英文要旨／Labour Reform in Korea from Gender Perspectives	
■論文	
労働者災害補償保険法の制定と所管問題——「社会保障化」論争の歴史的前提	平 将志
■書評と紹介	
渡邊勉著『戦争と社会的不平等——アジア・太平洋戦争の計量歴史社会学』	加瀬和俊
李東勲著『在朝日本人社会の形成——植民地空間の変容と意識構造』	木村健二
社会・労働関係文献月録	
月例研究会 ヴェルサイユ体制下ドイツ鉄鋼業の再編 ——フリック・コンツェルンとヴァイマル政府の関係を中心に	伊東林蔵
所報	2020年11月